

魚津市公共施設等総合管理計画

個別施設計画

I 公共施設

E 社会教育・文化施設

2 図書館

令和5年4月改訂

魚津市

(所管部署：図書館)

目 次

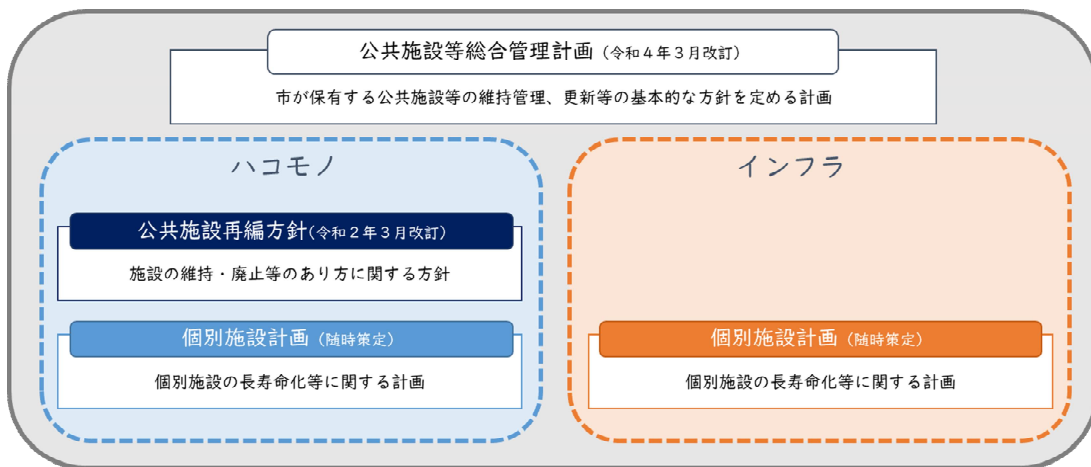
1	個別施設計画策定の趣旨及び概要	
1. 1	策定の趣旨	P 1
1. 2	対象施設	P 1
1. 3	計画期間	P 1
1. 4	進行管理	P 1
2	施設の状況	
2. 1	老朽化の状況及び改修状況	P 2
2. 2	位置図	P 3
2. 3	施設の利用状況及び収支の状況	P 4
3	個別施設の方針	
3. 1	施設の役割	P 5
3. 2	現状と課題	P 5
3. 3	今後の考え方	P 6
3. 4	対策内容と実施時期	P 7
3. 5	対策費用	P 8

1 個別施設計画策定の趣旨及び概要

1.1 策定の趣旨

本計画は、魚津市公共施設等総合管理計画（令和4年3月改訂版。以下、「管理計画」という。）に基づき、施設類型ごとの具体的な方針や長寿命化計画などを示すものです。

魚津市における公共施設等総合管理の概念図



1.2 対象施設

対象施設は、管理計画における「図書館」とします。

1.3 計画期間

計画期間は、20年間とします。

1.4 進行管理

本計画に基づく進捗確認を毎年度行い、達成状況や財政状況などを踏まえて対策内容と実施時期を見直すことにより、計画的な改修等に努めます。

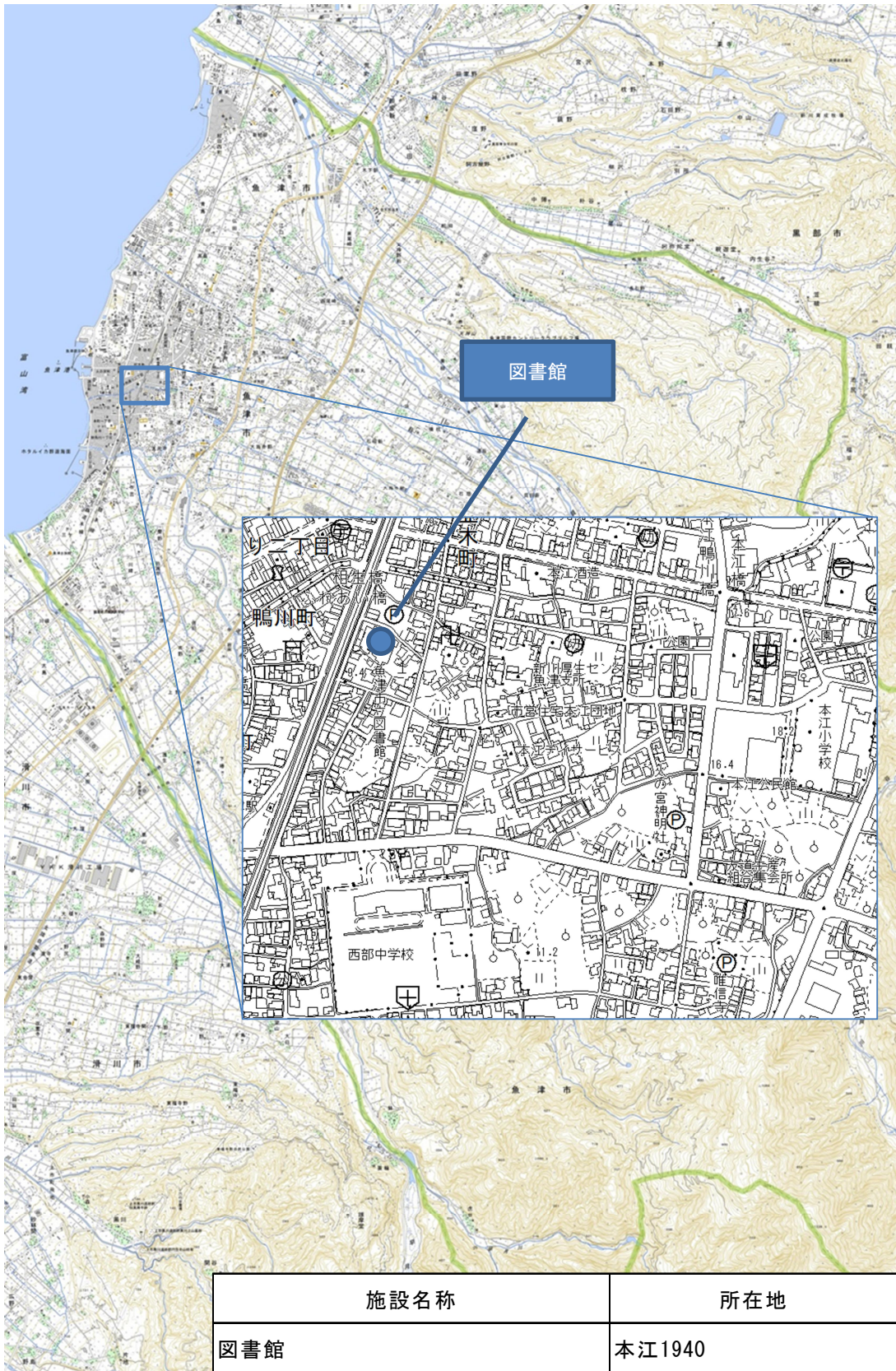
2 施設の状況

2.1 老朽化の状況及び改修状況

No	施設名称	建設年度	経過年数	構造 / 階層	延床面積 (㎡)	敷地面積 (うち借地) (㎡)	資産老朽化比率	劣化状況	改修状況					
									耐震化改修	長寿命化改修 (千円)				
										屋根	外壁	他		
1	魚津市立図書館	H16	17	RC/3	2789.04	3,058	52.4%	空調、外構、建具等経年劣化が著しい	不要				(H26) 蓄熱式空調室外機修繕 マルチメディアコーナー (H27) 空調機ガス漏れ修繕工事 郷土資料コーナー (H28) 空調機修理工事 郷土資料コーナー (H29) 駐車場塗替等工事 (H30) 排煙装置修理工事 郷土、くつろぎ、ランチスペース (H31) LED取替工事郷土コーナー 両引き自動ドア装置取替工事 正面玄関海側 (R2) 非常灯バッテリー取替工事 (R3) 駐車場グレーチング修繕工事 空調室外機修繕 (AVコーナー) プロジェクター取替工事 (R4) 空調室外機修繕 (学習室) 非常灯バッテリー取替工事 照明器具LED化工事 学習室、視聴覚室	499 568 646 369 362 323 275 495 550 363 1,738 726 812 2,585
	合計				2789.04	3,058	52.4%			0		10,311		

※ 経過年数・資産老朽化比率等は、令和3年度末時点

2. 2 位置図



2. 3 施設の利用状況及び収支の状況

No	施設名称	利用状況（人）			収支（千円）											
		R1	R2	R3	R1				R2				R3			
					収入	支出	収支差額	【参考】 減価償却費	収入	支出	収支差額	【参考】 減価償却費	収入	支出	収支差額	【参考】 減価償却費
1	魚津市立図書館	202,730	148,075	151,318	2,394	46,960	▲ 44,566	28,453	683	58,194	▲ 57,511	28,453	1,792	44,123	▲ 42,331	28,453

収入について主なものは研修室使用料や受講料、支出について主なものは施設管理運営費、図書館窓口業務運営費、資料購入費等です。

令和2年度には、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金による除菌機2台と電子書籍を導入しました。

3 個別施設の方針

3.1 施設の役割

図書館は、あらゆる年齢層の利用者に資料及び情報を提供し学習活動等を支援する施設です。図書・郷土資料・新聞・雑誌等を広く収集し、保存しています。

また、生涯学習の場の提供として、図書館事業と調整しながら研修室・視聴覚室の貸出や学習室の提供を行っています。

3.2 現状と課題

建設から15年以上が経過し、各所に老朽化が見られます。特に、空調設備の老朽化は進行しており、急な故障による運転停止が増えています。また防災設備の老朽化も進行しており、緊急時の対策に万全を期す必要があります。

図書館資料の増加に伴い、書庫が手狭になってきており、近年中に新たな書庫スペースの確保が必要となります。

3. 3 今後の考え方

①対策の優先順位の考え方

基本的には、建築年度又は長寿命化改修実施年度からの経過年数が大きい施設から優先的に対策を実施するものとしますが、点検結果や施設の利用状況等の要因により実施時期が前後する場合があります。

また、市の財政状況を見ながら、対策に係る経費が平準化されるよう、計画的に対策を実施するものとします。

②保有総量の抑制について

社会情勢の変化をふまえ、サービス水準を出来る限り維持しながら公共施設の総量を抑制するため、施設の維持更新にあたり、機能集約や複合化を検討します。

③施設の長寿命化について

施設の長寿命化を図るため、事後保全的な維持管理から予防保全的な維持管理に転換します。

施設の目標使用年数を60年以上とし、施設の長寿命化改修は建築年度から20年及び40年を経過する年度から5年以内を目途に実施するものとします。

④社会的なニーズへの対応について

施設の長寿命化改修に併せ、バリアフリー化、ユニバーサルデザイン化、施設の脱炭素化等に係る改修を実施するものとします。

ただし、経費の平準化や社会的要請の高まり等の要因により個別に対応を実施する場合があります。

3.4 対策内容と実施時期

No	施設名称	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	R23	R24	
1	魚津市立図書館	→ 高圧気中開閉器及び避雷器																				
					→	→	→	空調機更新（3期）														
					→	高圧ケーブル更新1,870千円																
		→ 順次館内LED化を図る（学習室・視聴覚室はLED化終了）																				
		→ 適切な維持管理・改修等を実施し、長寿命化を図る																				

※ 本計画は、適切な長寿命化改修を実施することにより、減価償却資産の耐用年数を超えて施設を利用することを目指すものですが、老朽化度調査等の結果を基に、長寿命化改修の実施有無や利用期間などが変更となる可能性があります。

※ 本計画における長寿命化改修や建替え等については、市の財政状況を見ながら、対策に係る経費が平準化されるよう、計画的に対策を実施するものとします。

3.5 対策費用

計画期間における概算費用は、「図書館」の施設類型全体で約10千万円です。

ただし、現在の市の財政状況では全ての対策を実施することは困難なため、市の公共施設全体で統廃合や複合化を更に推進し、

総量縮減を図る必要があります。